

2018年版ちひろカレンダー普及ニュース

発行：原水爆禁止神奈川県協議会 横浜市中区野毛町 2-61 大沢ビル 4A
Tel 045 (231) 6284 Fax 045 (261) 6577 Mail- kana-gensuikyo@gol.com 発行日：2017.10.4 No. 1

いま、ちひろカレンダー普及の中で 禁止条約調印の国民世論を広げよう

今年も“ちひろカレンダー”の普及活動が全県で行われています。12月まで2ヶ月です。

突然の解散総選挙に、日本の命運を分ける選挙として毎日全力を尽くしていることと思います。安倍暴走政治ストップ、核兵器禁止条約署名する政府をつくる絶好のチャンスとして必ず勝利しようではありませんか。

国連での核兵器禁止条約採択で核兵器廃絶運動は新たな局面を迎えています。すでに調印した国は53カ国を数え、来年中には条約発効の流れとなっています。

日本政府は禁止条約に反対し、調印を拒否しています。これは、日本国民にとって大きな不幸です。北朝鮮の核・ミサイル問題解決にとっても障害となっています。この日本政府の態度を改めさせ、署名する政府をつくることは、総選挙の大きな争点の一つとなっています。



いわさきちひろさんの「優しく透明な絵に込められた子どもへの限りない愛」「1枚の絵に命の大切さ、平和への思い」が、今注目されています。

今、「子どもへの限りない愛」「核兵器のない平和な世界実現」は、私たちに求められているもっとも大事なものの一つです。ちひろカレンダーを若い世代に広げ、平和の力、核兵器禁止条約実現の声をもっともっと広げようではありませんか。

選挙の中でも

ちひろカレンダーファンみなさん、
周りの人に広げようお願いします。



もっともっと、ちひろカレンダーを広げましょう！

今年も、福島被災地の仮設住宅に ちひろカレンダーを贈りましょう！

東日本大震災・福島原発事故から6年7ヶ月が経ちました。事故後の復旧・復興は遅れ、依然、我が家に戻れない人はまだ6万人以上います。仮設住宅で生活している被災者は、避難生活7年近くなり先の見えない不安と絶望の思いで過ごしています。この最大の責任は東電と政府です。一日も早い復旧・復興が求められます。一層運動を強めなければなりません。

同時に、私たちに今できることとして今年も仮設住宅のみなさんに「ちひろカレンダー」をお届けします。多くの方の募金へのご協力をお願いします。

一口1000円を目安に

皆さん、募金にご協力をお願いします。



申込が遅れています。お早め！

ちひろカレンダー普及が 原水協を財政的に 支えています

いわさきちひろさんは、生前から核兵器廃絶運動に温かい理解と支援を送っていました。その思いが“ちひろカレンダー”に結実しました。ちひろカレンダーの普及の中で原水協を財政的にも支えています。

歴史的に原水禁運動は、市井の人々の募金で活動を続けてきています。それは今も変わりません。その一つがちひろカレンダーの普及活動です。

神奈川県原水協もちひろカレンダー普及で財政的に支えていただき、活動を続けることができています。ぜひ、この面からもカレンダー普及に温かいご支援を心からお願いします。